

深谷市における「福祉コンビニ」の実験

竹石 研二（シネマワーカーズ）／岡元カツ子（労協センター事業団）

1. 深谷市の現況

深谷市は埼玉県の北部に位置し、市の北部には群馬県境の利根川が流れている。都心から80km圏、浦和から50km圏にあり、人口は微増の傾向で10万人を超えた。利根川の肥沃な土地を生かした県内有数の野菜の産地（特に深谷ねぎは有名）であり、近年は花卉栽培（チューリップ・ユリなど）も盛んである。また工業団地の造成もおこなわれ、合わせて都内への通勤圏としても定住化が進んでいる。

商業の分野では、郊外型の大型店を核とするショッピングセンターと深谷駅前を含む中心商店街（5商店会）とに二分されており、特に中心市街地の停滞と活力喪失は深刻です。

こうした現状を踏まえて、深谷市では「中心市街地活性化法」に基づいて、

- 1) 人が集まり、
- 2) 多世代が交流し、
- 3) 個性・独自性が発揮できるような街づくりをめぐりて昨年12月に活性化基本計画を策定した。スタートしたばかりの「中央地区区画整理事業」とあわせて、時間をかけた新しい模索と計画が動き出します。

2. 自立した福祉・文化・市民活動の歴史

深谷では、比較的早い時期から父母と保育者の共同保育の実践があり、「さくら・さくらんぼ」保育園もその一つです。また市民生協も誕生し、県内の産直運動をつくり合わせて生産者組織もつくられました。更に生協運動の中から、「虹の演劇鑑賞会」・「虹の映画鑑賞会」・「虹の音楽鑑賞会」（3団体で5,500人の会員）の市民文化活動も誕生しました。

労協・センター事業団は埼玉北部事業所を開設し、生協の物流部門を皮切りに13年の中で豆腐工房、愛彩弁当、そして地域福祉事業所「だんらん」を立上げ4つの事業を進めています。それと時を同じくして<市民と映画の出会いとまちづくり>をめぐり「シネマ・ワーカーズ」が深谷で誕生し、労協連に加盟しました。現在NPO法人市民シアター・エフを支援して「シアター・エフ」（商店街の空きスペースでの74席の手づくり劇場）や地域の自主上映会の推進・支援事業を行っています。

これらの福祉文化事業は、市民が自らの地域で人間らしく（健康にして文化的な生活を営む）生きていくために必要な仕事を発見し、事業化する非営利の市民事業でもあります。

3.深谷市での

「福祉コンビニ」の実験と可能性

駅前から商店街にかけての空洞化（青空駐車場化と空店舗化と集客力の低下など）をふまえた市の「中心市街地活性化計画」の具体化の動きと、市民の福祉文化事業の動きが今後どのような接点を持ち、その蓄積の中でのような協同が形成されていくのかという中で、今回の「福祉コンビニ」が提案されたことは大変意味のあることだと思います。この実験が一つのきっかけとなって深谷市における＜地域の福祉文化と商店街の活性化＞という扉が開けられることになると思います。そしてこのビジネス・モデルは全国に共通する内容と可能性を持っているといえます。

4.深谷市における

「福祉コンビニ」実験の内容

私たちは、この秋から（10／中旬～2／中旬）深谷市において「福祉コンビニ」の実験を、下記の三つの形で行っていきます。

(1) 実験1：介護機器・健康用具の提供

・介護保険制度の中に、介護機器・用具のレンタルおよび購入についての保険給付がありますので、この分野の適正な商品の供給について、労協・高齢協の方式を確定したく考えております。合わせて、高齢者に適した健康用品の供給も組み合わせた実験事業として行います。これは、地域福祉事業所の周辺で行われることとなります。

(2) 実験2：御用聞き・出前・個配

・前述の「御用聞き・出前・個配」付き商店

街というビジネス・モデルを実行するためには、いくつかの準備が必要です。

- 1) 地域の高齢者・住民の実態ならびにニーズの調査
- 2) 生活ヘルパーの育成・組織化
- 3) 「御用聞き・出前・個配」の仕組み設計
- 4) 対象商品の選定基準と商品設計

*これらの準備事項、特に3)、4)は、商店街のみなさんとの合意の下で協力・実行していきます。

(3) 実験3：「シアター・エフ」での文化と憩いの場づくり

映画「愛染かつら」で出会った元気な高齢者の方々の、文化と憩いの場として、「シアター・エフ」を高齢者の参加で運営していきます。

5.「福祉コンビニ」実験の推進について

・現地の推進体制は、推進委員会（労協本部・東関東事業本部・さいたま高齢協・深谷地域福祉事業所「だんらん」・「シネマ・ワーカーズ」で構成）を毎週もって推進しています。

・スタートにあたり、10月上旬に深谷市商店街連合会の会長さんと、深谷市商工振興課（福祉課・社会福祉協議会も同席）と話し合いをもって、「福祉コンビニ」の説明と協力をお願いしました。

・今後、実験1～3についての作業スケジュールを検討・作成していくことにします。当面は10月16日～の映画「君の名は」（2週間上映）を協同して取り組むことにしました。